

令和6年度第1回名取市給食運営審議会 議事録

- ・日 時 令和6年12月24日（火）13時30分～
- ・場 所 仙台法務局名取出張所2階 会議室4
- ・出席者
 - ①委員 鈴木博幸会長、菊池副会長、海川委員、奥山委員、伊藤委員、黒川委員、高橋睦子委員、笠松委員、佐藤委員、鈴木華香委員、長田委員、大内委員、高橋千春委員（欠席者 小林委員、寺嶋委員）
 - ②教育委員会 瀧澤教育長
 - ③事務局 高橋課長、岩渕課長補佐、高橋所長、高橋主査、大宮
- ・議 題 令和7年度学校給食費について
- ・審議会は公開、傍聴者は1名

1. 開会

<委嘱状の交付>

人事異動等により委員の交代があり、新委員に委嘱状の交付を行った。交付は黒川委員による代表受領により行った。

<あいさつ>

○瀧澤教育長

市内の小中義務教育学校は、今日から冬休みになっております。昨日、各学校では、冬休み前の集会が行われました。12月に入ってから、インフルエンザ等での欠席者が多くいて、4つの学校で、合計5つの学級で学級閉鎖をしております。

ただ昨年度は11、12月で90学級ぐらい学級閉鎖していました。インフルエンザ等の流行は休み明け2月にかけてピークになると言われています。各学校では、休み明けも含めて感染症対策に注意していかなければならないと思っていますところ。

さて学校給食をめぐる話題では、昨日だったでしょうか学校給食の無償化の法案を、野党3党が共同で提出するというニュースが流れました。

名取市では、中学校の給食費は無償化しているわけですが、仮に無償化になったとしても、子供たちに、質、量、栄養価といったもののバランスを考えた、給食を提供するために、給食費がどのくらい必要かということは、考えていかなければいけないことだと思います。

さて、後程諮問させていただきますが、今日の審議会では、令和7年度の学校給食費の適正額についてご審議をお願いしたいと思っています。

現在、小学校が300円、中学校が370円の給食費単価で給食の運営をさせていただいておりますが、今年度も物価の上昇が著しくて、給食センターでは苦勞しながら、学校給食を提供しているのが現状です。

色々な事情はこれから事務局からご説明申し上げますが、今年のままの給食費では来年度非常に給食の提供が難しいというのが現状です。

そういったことも踏まえて、来年度の適正額について、委員の皆様で色々のご審議いただければと思います。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

<会議の公開について>

○高橋課長

この審議会は、会議の公開に関する要綱により、原則公開の対象であることを申し上げます。本日の傍聴者はお1人です。また、この会議の議事録につきましては、概要筆記とさせていただきます。

それでは次に、委員の交代もございますので、自己紹介をお願いしたいと思います。

<委員の自己紹介>

委員の交代があったため、名簿順に委員から自己紹介を行った。

<会長、副会長の選出>

会長に鈴木博幸委員、副会長に菊池委員を選出した。

<諮問>

瀧澤教育長から鈴木会長に対し、令和7年度学校給食費の適正額について諮問した。

2. 審議

<報告事項>

○大宮

資料1の1～4ページを元に、令和5年度の審議会開催状況、収支決算額について報告をなした。

<協議事項>

○大宮

資料1の5～○ページと資料2を元に、協議のための資料について説明をなした。県内市町の給食費単価推移、主食・牛乳の単価推移、みやぎ米飯学校給食支援方式の制度・価格の推移、一般物資主要品目の契約単価推移、月2回入札の野菜单価推移、栄養価充足率の状況、食品ロスの状況、仙台市消費者物価指数について。

<質疑応答>

○黒川委員

資料1の16ページで、栄養価の充足率をみると小・中学校共に100パーセントを超えている項目が多く、厳しい中で色々と努力していただいていると感じます。

タンパク質が小・中学校とも充足していない状況ですが、要因を教えてください。

○高橋所長

タンパク質について、給食センターで献立を考えている栄養士から特に話を聞いてはいない状況です。昨年度と同様、栄養価の充足を達成するよう献立は考えているところですが、昨年度は中学校のカルシウムと食物繊維の値が低かったこともあって、今年度は食材の中で強化してあるものを多く使うよう献立を考えているという話は聞いています。

カルシウムについては、カルシウム強化型のヨーグルトを提供しており、パンの時に提供されるキャラメルクリームにもカルシウムが多く含まれています。食物繊維については、ゼリーの中で繊維強化型のゼリーがあるので、そちらを使っています。

それからパンは、ファイバーブレッドという食パンの中に食物繊維が入っている製品を使うなどして、昨年度指摘されたカルシウム、食物繊維は強化を図っていると担当栄養士から聞いていました。

○瀧澤教育長

タンパク質についても意識して献立を作っていると思いますが、具体的な要因は確認して、2回目の審議会で具体的にお話させていただきたいと思います。

○黒川委員

中学校のカルシウム、食物繊維は数値が改善して大変ありがたいと感じています。なお、タンパク質は生鮮食品の価格がかなり上がっているということで、お肉などを調達するのが難しい面があるのかと思っの質問でした。

○鈴木会長

タンパク質の要因は 2 回目の審議会で確認させていただくことで進めていきたいと思います。

<協議>

○鈴木会長

令和 7 年度の給食費の適正額について協議しますが、何もないところでは難しく、協議を円滑に進めていきたいと思いますので、事務局からたたき台をお願いしたいと思います。

○大宮

事務局案としまして、小学校 25 円、中学校 30 円の値上げとし、小学校 325 円、中学校 400 円の負担とすることを考えております。

まず値上げの提案は物価上昇によるものです。

1 番目としまして、米飯に係る上昇分です。

資料 1 の 9 ページでご覧いただきました通り、米飯の提供価格は前年同期と比べ、小学校 10.50 円、中学校 15.75 円の上昇がすでに示されており、上昇分としてこの価格を見込んだものです。

次に 2 番の牛乳についてです。資料 2 の 12 ページをご覧いただきたいと思います。

仙台市消費者物価指数を取りまとめたものですが、食品のうち乳・卵類の数値をご覧ください。令和 6 年 10 月の対前年同月比で 1.1 パーセントとなっていますが、令和 6 年 1 月から 10 月までの平均が 5.48 パーセントとなっています。

令和 7 年度についても同程度の上昇を想定し、今年度の価格に上昇率をかけて試算し、3.64 円の上昇を見込みました。

次に、3 番の野菜、副食についてです。同じく資料 2 番の 12 ページをご覧ください。

食料のうち、生鮮野菜の令和 6 年 10 月の対前年度比はマイナス 2.0 パーセント、生鮮食品を除く食料で 3.8 パーセントとなっています。

令和 6 年 1 月から 10 月までの平均が生鮮野菜で 8.84 パーセント、生鮮食品を除く食料で 4.35 パーセント、それぞれ上昇しています。

令和 7 年度についても同程度の物価高騰を想定し、今年度の価格に上昇率をかけて試算しました。

野菜は、小学校で 1.89 円、中学校で 2.45 円。野菜を除く副食は小学校で 5.65 円、中学校で 7.75 円の上昇を見込んだものです。

以上の上昇分を合計すると、小学校については 21.68 円、中学校については 29.59 円となり、端数を切り上げて、小学校は 25 円を追加して 325 円、中学校は 30 円を追加して 400 円が必要な金額であると考えます。

事務局案についての説明は以上です。

○鈴木会長

事務局案に対して、委員からご意見を伺いたいと思います。奥山委員、いかがですか。

○奥山委員

今回値上げということで、去年も値上がりがあったと思います。スーパーでもお米の値段が大変値上がりしていますので、必要な栄養を賄うために必要な値上げであれば、やむを得ないのかなと思います。食材についても、色々と確かめていただきながら、適正なものを使っているということです。どこを削れるのかが限界とも先ほどの説明で感じたところでした。ですので、致し方ないと私は考えております。

○高橋睦子委員

世の中の状況を見ても、色々なものが値上げしている中で、工夫していただきながら、美味しく安心安全な給食を作っていただいております。今年度、給食をいただいて、栄養がプラスになっている給食が増えたという感覚があり、そのような工夫をして提供いただいていることを本当にありがたく思っています。工夫していくにあたっては、ある程度お金が必要になっ

てくると思っています。値段を絞りつつ、子どもたちに安全安心で栄養のあるバランスのよい給食の提供は難しくなってきたのかと思います。私としても、値上げはやむを得ないと考えております。

○鈴木会長

また小学生 25 円、中学生 30 円上がるということで保護者の方の代表の立場からのご意見を伺いたいと思います。笠松委員、いかがですか。

○笠松委員

私も社会の流れ的に物価も上昇していますし、光熱費も高くなっているのも、保護者の目から見ても値上げは、仕様がないうねという感覚になるので、理解はしていただけたと思います。

あと、去年も値上げをして、栄養価充足率が上がって、子どもたちの身体のためには必要なものだということが分かれば、この値上げは皆さんに理解いただけるものと思います。

○鈴木会長

ありがとうございます。それでは保護者代表の方からもう 1 名、相互台小学校の鈴木委員いかがですか。

○鈴木委員

家庭側からすると、苦しい部分はありますが、やはり買い物に行く度に、日に日に物価が上がっているのは、目に見えてわかっていることです。また、実際にうちの子は小学校に入って、ぐんと背が伸びたりして、みんなで食べるとおいしいから食べてみよう、学校の指導によって苦手なものでもひと口は食べてみようということもあります。子供の成長にあたっては、致し方ない値上げなのかなと思います。

○鈴木会長

全体的な値上げを考えれば、給食費の値上げも仕方がないのかなと意見をいただいておりますが、高橋千春委員いかがですか。

○高橋千春委員

私も今、現場のゆりが丘保育所で給食費を考えながら、調理をしていますが、同じようにお米も食材もかなり高くなっていて、どうやってこの給食費、賄費を抑えるのかなと考えながら作っていて、学校給食もすでにかなり工夫しているのだろうと察するところです。

やはり金額に対しては、本当に先生方のおっしゃる通りやむを得ないと思っています。

○鈴木会長

これまで長く食と生活を考えていらした海川委員いかがでしょうか。

○海川委員

気になったのが食品ロスについてです。年間提供回数が、減っているということは、人数が減っているということですか。

○高橋所長

令和 6 年度は、11 月分まで集計した数値を掲載しております。それ以前分は 4 月から 3 月までの 1 年間分の数値を掲載しているため、その差です。

○海川委員

分かりました。もう一つ気になったのは、栄養充足率の食塩についてです。食塩が小学校の場合、150 パーセント程度ということで割合が高くなっています。名取市で今、減塩とよく言っ

ていると思います。その中にあって、食塩を多く使っていると思ったのですが、何でこの数値が大きくなったのかなと思いました。

○高橋所長

減塩は献立を考えている中でも意識しているところではあります。例えば、名取と言えば笹かまぼこということで学校給食でも使用していますが、その中でも減塩の製品を使って工夫はしているものの、残食等のことを考えると良い塩梅の味付けにするため多少の調整は行っているところかと思っています。今の段階では多くなっているのかと考えています。

○鈴木会長

他に委員の皆さんからご意見はありますか。

○佐藤委員

小学校1食あたり25円、中学校で30円値上げをする事務局の案には賛成ですが、軽く算出すると夏休みなどの長期休暇も含めて、おそらく給食の提供期間は年間で11か月くらいあって、その値上げ分は年間で3,300円くらいになると思います。それを月で割ると300円弱です。

私には小学6年生の娘が1人いるのですが、今、給食費を月々5,400円払っていきまして、それを足すと5,700円になります。2人、3人のお子さんを持っている方になると負担額はそれぞれ致し方ないことではありますが、その金額の負担すべてが保護者にいくのはどうなのかと。

給食の提供を受けている側からすると少し傲慢なのかもしれませんが、名取市からの補助や援助がないのかなというのが正直あります。

たかが1食25円かもしれませんが、また継続的に来年度の審議をしてもおそらく上がっていくでしょうし、懸念として資料1の4ページに給食費の徴収率と未納額というものもあります。

給食は、すべての児童において平等に与えていただける食育だと思います。うちの娘も給食が楽しみで学校に行っています。とてもありがたいです。

でも、物価高に対しての負担を、すべて保護者にお願いするというのは、もう少し良い案はないのかなと、市に負担をお願いしたいなというのが率直な意見です。

家庭と市が折半するというのであれば、私はもう手を挙げて賛成しますが、その辺の擦り合わせとか落としどころを、出来ればもう一度見直してほしいなという気持ちが非常にあります。

○瀧澤教育長

もったもな御意見だと思います。

来年度のことを話しますと、今の事務局案は中学校30円の値上げですが、この部分は無償化していますので、すべて市の支出が増えるということです。保護者からは一切負担はいただきません。

問題は今、佐藤委員が仰った無償化になっていない小学校分で、今の時点ではっきりしたことは申し上げられませんが、教育委員会としても、出来るだけ保護者の負担を軽減してほしいということで、国から色々な臨時交付金、物価高騰に対応する交付金などが市町村に来ることもありますので、そのような交付金を充てて出来るだけ保護者負担を軽減してほしいということをお願いしております。

まだ今日の時点で、確実に来年度の小学校の給食費に交付金を充てられるのかが決まっておりませんので、はっきりしたことは申し上げられないのですが、出来るだけそのような方向でいくように、努めたいと思っています。

ただ、色々な状況から、やはり300円では来年度の小学校の給食費がかなり苦しいという状況は、ご理解いただけたかなとは思っています。

それから未納者がいて未納額があるというお話をいただきました。これは各学校でかなり努力をさせていただいて、ほぼ100パーセントに近い収納率にはなっています。

ただ、それでも15万なにがしかの未納額がありますので、これをゼロに近づけるよう、今後も学校と連携して取り組んでいきたいと思っています。貴重な御意見をありがとうございます。

○鈴木会長

それではもう1名、保護者代表で来ていただいている長田委員いかがですか。

○長田委員

福祉的な視点でも、中学校の無償化はありがたいです。小学校でも、今後できるだけ負担軽減の方向で検討いただけたら良いのではないかと、聞いていて思いました。

○鈴木会長

委員の意見をまとめていくと、事務局案、小学校25円、中学校30円の値上げやむなしで、ただし物価高における、保護者の公的な補助のようなものを少し働きかけていただくということころだと思います。

次回の審議会で答申文の内容を協議していくのですが、原案の作成は会長と事務局に一任いただいてよろしいでしょうか。文案をもとに次回の審議会で皆さんの意見を伺いながら決定していく流れにしたいと思います。

○大宮

第2回の審議会の日程について案内。

○高橋課長

他に委員の皆様から何かありますでしょうか。

○奥山委員

給食指導している中で、保護者の皆様から給食着の質問がありました。今の子どもたちはコロナを経験している子どもたちですので、前の家庭で洗濯した給食着の着回しをすることに抵抗を感じている保護者の方がいらっしゃいます。

また、柔軟剤など、自分のお家の匂いではないものを1週間着続けなければならないとか、季節にもよりますが、妙な洗濯臭があるなど、とても辛いという御意見が高学年のお子さんの保護者からありました。

保護者の方からの提案として、調理実習のように自分のものを使うことはダメかというお話もいただきました。そのお子さんは今、我慢しているのですが、そういったお子さんが複数いるのであれば、名取市内の他の学校と情報共有しながら、対応の仕方についてもう少し検討が必要かと思っています。

○瀧澤教育長

今、ご指摘いただいた柔軟剤の匂いや化学物質過敏症のお子さんもいらっしゃるので、これまでも別の学校でもそういった申出があったこともありました。

数年前から校長会等で給食着は共用で使うので、柔軟剤等の使用は控えていただくことを学校や保健だよりで保護者に周知してほしいとお話はしております。

ただ、十分徹底していないということだと思いますし、特別な事情がある場合には学校を通して教育委員会にご相談いただければ、お子さんそれぞれの症状がある場合には、それ以上の対応が必要なこともあるかもしれませんので、教育委員会の方で検討したいと思います。

3. 閉会

○高橋課長

皆様、長時間にわたり、ありがとうございました。それでは、閉会の挨拶を菊池副会長にお願いいたします。

○菊池副会長

それでは皆さん、慎重な審議ありがとうございました。私も主婦なので、物価高に関しましては非常に毎日頭が痛いところです。やはり値上げとなりますと、そこも引っかかるところで

して、どちらの意見もあるなと思って私も考えていたところです。

私は今年異動で名取に来たのですが、名取の給食を食べさせていただいて、非常に美味しく、中学生も何度もおかわりしている様子を見ますと、とても喜んでおります。

今後も安心安全な給食を提供していただくという点で、補助の話も含めて、今後また一層検討していければと思います。本日はどうもありがとうございました。

○高橋課長

以上をもちまして、令和6年度第1回名取市学校給食運営審議会を終了したいと思います。ありがとうございました。